

国内旅行中(団体旅行の集合地に集合した時から解散地で解散するまでを補償します。)の事故によるケガや手荷物の盗難・破損等様々な危険を補償します。

国内旅行傷害保険*1とは、傷害保険普通保険約款に国内旅行傷害保険特約をセットしたものをいいます。国内旅行傷害保険には、賠償責任危険担保特約、携行品損害担保特約、救済者費用等担保特約、等をセットすることができます。*1保険証券等には国内旅行総合保険と表示される場合があります。

①～⑤傷害

- ①死亡保険金
- ②後遺障害保険金
- ③入院保険金
- ④手術保険金
- ⑤通院保険金



⑥賠償責任保険金

展示品を壊してしまった

国内での事故(訴訟が国外の裁判所に提起された場合等を除きます)に限り、示談交渉は原則として東京海上日動が行います。

<示談交渉ができない場合>

- 相手方が、東京海上日動と直接、折衝することに同意しない場合
- 保険の対象なる方に損害賠償責任がない場合等

⑦携行品損害保険金

ビデオカメラを落として破損



※携行品の紛失、置き忘れによる損害(置き忘れまたは紛失後の盗難を含みます。)については保険金をお支払いできません。

※損害額は時価額または修繕費のいずれか低い方をいい、携行品1個、1組または1対あたり10万円(乗車券等または通貨等は合計で5万円)が損害額の限度となります。

※1回の事故ごとに免責金額(自己負担額)3,000円をお客様にご負担いただけます。

⑧救済者費用等保険金

ケガがもとで継続して14日以上入院し、看護のために親族が現地に向かった



<保険金をお支払いする主な場合、お支払いする保険金、保険金をお支払いしない主な場合の概要については、後記「国内旅行傷害保険のご説明」をご確認ください。>

ご契約タイプ一覧表 (保険金額*2とお支払いいただく保険料)

保険期間 (ご旅行期間)	日帰り・2日(1泊2日)まで			4日(3泊4日)まで			7日(6泊7日)まで			14日(13泊14日)まで		1ヶ月まで	
	J1	J2	J3	K1	K2	K3	L1	L2	L3	M1	M2	N1	N2
①死亡・後遺障害 保険金額	735万円	1,000万円	1,620万円	735万円	1,000万円	1,620万円	735万円	1,000万円	1,620万円	1,570万円	1,570万円	1,683万円	2,265万円
②後遺障害保険金	後遺障害の程度に応じ、死亡・後遺障害保険金額の4%～100%の割合を乗じた額をお支払いします。												
③入院保険金日額	3,000円	6,500円	15,000円	2,500円	6,000円	12,000円	1,500円	5,000円	8,500円	12,000円	15,000円	10,000円	15,000円
④手術保険金	入院中に受けた手術は入院保険金日額の10倍、入院中以外の手術は入院保険金日額の5倍となります。												
⑤通院保険金日額	2,000円	3,000円	7,000円	1,500円	2,500円	5,000円	1,000円	2,000円	3,500円	7,000円	10,000円	5,000円	10,000円
⑥賠償責任保険金額 (免責金額0円)	3,000万円												
⑦携行品損害 保険金額 (免責金額3,000円)	10万円	40万円	50万円	10万円	35万円	50万円	10万円	35万円	50万円	30万円	45万円	40万円	50万円
⑧救済者費用等 保険金額	160万円	213万円	215万円	110万円	213万円	178万円	79万円	64万円	103万円	140万円	170万円	300万円	300万円
お支払いいただく 保険料	500円	1,000円	1,500円	500円	1,000円	1,500円	500円	1,000円	1,500円	1,500円	2,000円	3,000円	4,000円

*2各保険金額・日額には引受の限度額がございます。死亡・後遺障害保険金額については、保険の対象となる方の年齢・年収等に応じた引受けの限度額があります。

ご契約の際のご注意

- ①保険料領収証: 保険料お支払いの際は、保険会社所定の保険料領収証を発行しますので、お確かめください。
 - ②保険証券、保険契約証または被保険者証について: 代理店または保険会社にてご契約のお手続きをされたにも関わらず、保険証券、保険契約証または被保険者証が、旅行出発前に届かないときは、お手数ながらご契約の代理店または営業店へお問い合わせください。お問い合わせに際しましては、領収証番号・保険の種類・保険期間およびご契約の代理店名をご連絡願います。なお、保険証券、保険契約証または被保険者証をお渡しするまでにはお時間がかかる場合がありますので、お早めにお申込みいただきますようお願いいたします。
 - ③補償の重複について: ・賠償責任危険担保特約等をご契約される場合で、保険の対象となる方またはそのご家族が、補償内容が同様の保険契約*1を他にご契約されているときには、補償が重複することがあります。・補償が重複すると、対象となる事故について、どちらのご契約からでも補償されますが、いずれか一方のご契約からは保険金が支払われない場合があります。補償内容の差異や保険金額をご確認のうえで、特約等の可否をご検討ください。*2
- *1 国内旅行傷害保険以外の保険契約にセットされる特約や弊社以外の保険契約を含みます。*2 1契約のみにセットする場合、将来、そのご契約を解約したとき等は、補償がなくなることがありますので、ご注意ください。

この保険は山交観光㈱を保険契約者とし、山交観光㈱が取扱う5名以上の国内旅行に参加する旅行者全員を保険の対象となる方とする包括契約です。その為、保険証券を請求する権利、保険契約を解除する権利等は、原則として保険契約者となる山交観光㈱が有しますが、山交観光㈱はご加入者から解約、変更請求等のお申し出があった場合には、必ずこれに応じて必要な対応を行います。

代理店は保険会社との委託契約に基づき、保険契約の締結・契約の管理業務等の代理業務を行っております。したがって、代理店との間で有効に成立したご契約につきましては、保険会社と直接契約されたものとなります。

このパンフレットは国内旅行傷害保険の概要をご紹介します。ご契約にあたっては、必ず『重要事項説明書』をよくお読みください。また、詳細は『国内旅行傷害保険ご契約のしおり』をご用意しておりますので、必要に応じて、代理店または保険会社にご請求ください。ご不明な点等がある場合には、代理店または保険会社までお問い合わせください。ご加入者と保険の対象となる方が異なる場合は、このパンフレットの内容を被保険者全員にご説明いただきますようお願い申し上げます。

お問い合わせ先

<代理店> **山交観光株式会社**

<保険会社>

東京海上日動火災保険株式会社

〒990-2492 山形市鉄砲町2-13-18

TEL: 023-641-4567 FAX: 023-641-4573

担当支社 山形支店 山形支社

〒990-8522 山形市 松波1-1-5 山形東京海上日動ビル2階

TEL: 023-632-5518

2021年7月作成 21-T02199

国内旅行傷害保険のご説明

ケガを被ったとき既に存在していた身体の障害または病気の影響によって、ケガの程度が重大となった場合、当社はその影響がなかったときに相当する金額を支払います。

保険金の種類	保険金をお支払いする主な場合	お支払いする保険金	保険金をお支払いしない主な場合				
死亡保険金	日本国内旅行中の急激かつ偶然な外来の事故によりケガをされ、その直接の結果として、事故の発生の日からその日を含めて180日以内に死亡された場合（事故によりたまたまに死亡された場合を含みます。）	死亡・後遺障害保険金額の金額をお支払いします。 ◆既に支払った後遺障害保険金がある場合は、死亡・後遺障害保険金額から既に支払った金額を控除した額をお支払いします。	●ご契約者、保険の対象となる方の故意または重大な過失によるケガ ●保険金受取人の故意または重大な過失によるケガ（その方が受け取るべき金額部分） ●けんかや自殺行為・犯罪行為によるケガ ●無免許運転、酒気帯び運転、麻薬等を使用した運転中に生じた事故によるケガ ●脳疾患、疾病、心神喪失によるケガ ●妊娠、出産、早産、流産によるケガ ●外科的手術その他の医療処置（保険金が支払われるケガを治療する場合を除きます。）によるケガ ●地震もしくは噴火またはこれらによる津波によるケガ ●戦争、外国の武力行使、革命、政権奪取、内乱、武装反乱その他これらに類似の事変または暴動によるケガ*8 ●可燃物物質の有害な特性等によるケガ ●ビッケル・アイゼン等の登山用具を使用する山岳登山、職務以外での航空機操縦、ボフスレー、スカイダイビング、ハンググライダー搭乗等の危険な運動中のケガ（特別危険担保特約をセットし、これらの運動等に対応する割増保険料を払いいただいた場合は、保険金お支払いの対象となります。） ●自動車等の乗用用具を用いた競技・試運転、競技場でのフリー走行等を行っている間のケガ ●むちうち症、腰痛その他の症状で医学的他覚所見のないもの等 *8 「戦争危険等免責に関する一部修正特約」がセットされているため、テロ行為によるケガはお支払いの対象となります。				
後遺障害保険金	日本国内旅行中の急激かつ偶然な外来の事故によりケガをされ、その直接の結果として、事故の発生の日からその日を含めて180日以内の後遺障害*1が保った場合。 *1 治療*2の効果が医学上期待できない状態であって、保険の対象となる方の身体に残された症状が将来においても回復できない機能の重大な障害に至ったものまたは身体の一部の欠損をいいます。	後遺障害*1の程度に応じ、死亡・後遺障害保険金額の4%~100%の割合を乗じた額をお支払いします。 ※保険期間（保険のご契約期間）を通じ合算して死亡・後遺障害保険金額が限度となります。					
入院保険金	日本国内旅行中の急激かつ偶然な外来の事故によりケガをされ、その直接の結果として、入院*3された場合。	入院保険金日額に入院*3した日数（実日数）を乗じた額をお支払いします。 ◆事故の発生の日からその日を含めて180日（支払対象日数）を経過した後の入院*3に対しては、入院保険金はお支払いできません。 ◆支払対象となる「入院日数」は、180日（支払限度日数）を限度とします。 ◆入院保険金の支払を受けられる期間中にさらに入院保険金の支払原因となるケガをされた場合においても、重複しては入院保険金を支払いません。					
手術保険金	日本国内旅行中の急激かつ偶然な外来の事故によりケガをされ、事故の発生の日からその日を含めて180日以内に手術または診療所において、その治療*2を直接の目的として手術*4を受けた場合。 *4 次のいずれかに該当する診療行為をいいます。 ①公的医療保険制度における医師診療報酬点数表に、手術料の算定対象として列挙されている手術。 ※②の処置や検査等お支払いの対象外の手術があります。 ②先進医療*5に該当する所定の手術 *5 「先進医療」とは、公的医療保険制度に定められる評価医療費のうち、厚生労働大臣が定める先進医療（先進医療ごとに厚生労働大臣が定める施設基準に適合する病院または診療所において行われるものに限ります。）をいいます（詳細については厚生労働省のホームページをご参照ください。）。なお、療養を受けた日現在、公的医療保険制度の給付対象になっている療養は先進医療とはみなされません（保険期間中に対象となる先進医療は変動する可能性があります。）。	入院保険金日額に次の倍率を乗じた額をお支払いします。 <table border="1"> <tr> <td>① 入院中に受けた手術*4</td> <td>10倍</td> </tr> <tr> <td>② 上記以外の手術*4</td> <td>5倍</td> </tr> </table> ※1事故に基づくケガに対して上記①②の両方の手術*4を受けた場合には、10倍となります。 ※1事故に基づくケガについて、1回の手術*4に限りませ。	① 入院中に受けた手術*4	10倍	② 上記以外の手術*4	5倍	
① 入院中に受けた手術*4	10倍						
② 上記以外の手術*4	5倍						
通院保険金	日本国内旅行中の急激かつ偶然な外来の事故によりケガをされ、その直接の結果として、通院*6された場合。 *6 病院もしくは診療所に通い、または往診により、治療*2を受けることをいいます。ただし、治療*2を伴わない、薬剤、診断書、医療器具等の受領等のためのものは含みません。 *7 ギプス、ギプス交換、ギプスシール、創子、シーメー固定、創外固定器、PTBキャスト、PTBブレースおよび三内式シーメーをいいます。	通院保険金日額に通院*6した日数（実日数）を乗じた額をお支払いします。 ◆事故の発生の日からその日を含めて180日（支払対象日数）を経過した後の通院*6に対しては、通院保険金はお支払いできません。 ◆支払対象となる「通院日数」は90日（支払限度日数）を限度とします。 ◆通院しない場合であっても、医師等の治療により所定の部位の骨折等によりギプス等*7を常時装着した日数についても、「通院した日数」に含みます。 ◆入院保険金が支払われるべき期間中の通院に対しては、通院保険金を支払いません。 ◆通院保険金の支払を受けられる期間中にさらに通院保険金の支払原因となるケガをされた場合においても、重複しては通院保険金を支払いません。					
賠償責任保険金	日本国内旅行中の偶然な事故により他人にケガをさせたり、他人の財物（宿泊施設の客室、客室内動産（客室外におけるセイフティボックスおよび客室のキーを含みます。）を含みます。）を壊したりして損害を与え、法律上の損害賠償責任を負った場合。	損害賠償金の額をお支払いします。 ※1回の事故について、賠償責任保険金額を限度とします。また、訴訟費用、損害の発生または拡大を防止するために必要・有益な費用、緊急措置に要した費用等もお支払いできることがあります。 ※国内での事故（訴訟が国外の裁判所に提起された場合を除きます。）に限り、示談交渉は原則として東京海上日動が行います。 ※東京海上日動の直接折衝について相手方の同意が得られない場合や保険の対象とならざる損害賠償責任ない場合、相手方・損害賠償請求を行う場合等には、東京海上日動は相手方との示談交渉はできませんのでご注意ください。 ※損害賠償責任の全部または一部を承認するときは、あらかじめ弊社にご相談ください。 ※他の保険契約または共済契約から保険金または共済金が支払われた場合には、保険金が差し引かれることがあります。	●ご契約者または保険の対象となる方の故意による損害賠償責任 ●職務の遂行に直接起因する損害賠償責任（仕事上の損害賠償責任） ●受託品に対する損害賠償責任（宿泊施設の客室に与えた損害をお支払いの対象となります。） ●車両（ゴルフカート、レンタカーを含みます。）、自動車付自賠責保険、航空機・船舶（モーターボートを含みます。）、鉄路（空気を除きます。）、の所有・使用・管理に起因する損害賠償責任 ●同居の親族*9および旅行行程を同じくする親族*9に対する損害賠償責任 ●保険の対象となる方の心神喪失に起因する損害賠償責任				
携行品損害保険金	日本国内旅行中の偶然な事故により、携行品*12に盗難・破損等の損害が生じた場合。 *12 携行品とは、現金、乗車船券、宿泊券、衣類、カメラ、眼鏡等、保険の対象となる方が所有かつ携行する身の回り品をいいます。 ※有価証券、預貯金証書、定期券、クレジットカード、稿本、設計書、船舶（ヨット・モーターボートおよびボートを含みます。）、自動車（バイクを含みます。）、ビッケル・アイゼン等の登山用具を使用する山岳登山中の登山用具、コンタクトレンズ、義歯、動植物、別送品等は含まれません。	（携行品*12 1個、1組または1対について10万円を限度とした）損害額*13をお支払いします。 ※乗車券等または通貨等については合計5万円を限度とします。 *13 損害額は、略価額または修繕費のいずれか低い方とします。 ※損害の発生または拡大を防止するために必要・有益な費用、損害賠償請求権の保全手続費用についても、お支払いできることがあり限度となります。 ※1回の事故ごとに免責金額（自己負担額）3,000円をご自身で負担していただきます。 お支払いする保険金＝損害額*13－免責金額（自己負担額）3,000円 ※他の保険契約または共済契約から保険金または共済金が支払われた場合には、保険金が差し引かれることがあります。	●ご契約者、保険の対象となる方または保険金受取人の故意または重大な過失による損害 ●無免許運転、酒気帯び運転、麻薬等を使用した運転中に生じた事故による損害 ●地震もしくは噴火またはこれらによる津波による損害 ●保険の対象が通常有する性質や性能の欠如、自然の消耗、性質による変質・変色 ●単なる外観の損傷 ●機能的に支障をきたさない損害 ●戦争、外国の武力行使、革命、政権奪取、内乱、武装反乱その他これらに類似の事変または暴動による損害*14 ●可燃物物質の有害な特性等による損害 ●携行品の置き忘れ、紛失*15 ●押し押え、破壊等の公権力の行使（火災消防・避難措置はお支払いの対象となります。） ●ビッケル・アイゼン等の登山用具を使用する山岳登山、ハンググライダー搭乗等を行っている間に生じたその運動用具の損害 *14 「戦争危険等免責に関する一部修正特約」がセットされているため、テロ行為による損害はお支払いの対象となります。 *15 置き忘れまたは紛失後の盗難を含みます。				
救護者費用等保険金	①日本国内旅行中に搭乗している航空機または船舶が行方不明または遭難した場合 ②保険の対象となる方がビッケル・アイゼン等の登山用具を使用する山岳登山中に遭難した場合*16 ③日本国内旅行中に急激かつ偶然な外来の事故によって保険の対象となる方の生死が確認できない場合または緊急な捜索、救助活動が必要なが警察等の公的機関により確認された場合 ④日本国内旅行中に急激かつ偶然な外来の事故によるケガのため、事故の発生の日からその日を含めて180日以内に死亡（事故によりたまたまに死亡された場合を含みます。）または継続して14日以上入院*3された場合。 *16補償する場合は特別危険担保特約をセットし、別途割増保険料をいただきます。	ご契約者、保険の対象となる方または保険の対象となる方の親族*9が負担した下記の費用をお支払いします。 ※ただし、救護者費用等保険金額が保険期間中のお支払いの限度となります。 ①捜索救助費用 ②現地への1日往復の交通費（救護者2名分まで） ③宿泊料（1名につき14日分を限度とし、救護者2名分まで） ④現地への移送費用*17 ⑤現地でのご滞在費（3万円まで） *17帰宅運賃のうちの払戻しを受けた金額、負担することを予定していた金額はこの費用の額から差し引きます。 ※他の保険契約または共済契約から保険金または共済金が支払われた場合には、保険金が差し引かれることがあります。	●ご契約者、保険の対象となる方または保険金受取人の故意または重大な過失による事故 ●けんかや自殺行為・犯罪行為による事故 ●無免許運転、酒気帯び運転、麻薬等を使用した運転中に生じた事故 ●地震もしくは噴火またはこれらによる津波による損害 ●ビッケル・アイゼン等の登山用具を使用する山岳登山、職務以外での航空機操縦、ボフスレー、スカイダイビング、ハンググライダー搭乗等の危険な運動中の事故（特別危険担保特約をセットし、これらの運動等に対応する割増保険料を払いいただいた場合は、保険金お支払いの対象となります。）*18 ●自動車等の乗用用具を用いた競技・試運転、競技場でのフリー走行等を行っている間の事故 *18特別危険担保特約をセットし、割増保険料をいただいた場合も捜索救助費用については、ビッケル・アイゼン等の登山用具を使用する山岳登山の工程中に遭難していただくことによって支払った費用をお支払いの対象となります。				

*2 保険の対象となる方以外の医師が必要であると認め、保険の対象となる方以外の医師が行う治療をいいます。
*3 自宅等での治療*2が困難なため、病院または診療所に入り、常に医師の管理下において治療に専念することをいいます。
*9 6親等内の血族、配偶者*10または3親等内の姻族をいいます。
*10 帰郷の届出をしていないが事実上婚姻関係と同様の事情にある方および戸籍上の性別が同一であるが婚姻関係と異なる程度の実質を備える状態にある方を含みます。（以下の要件をすべて満たすことが書面等により確認できる場合に限りませ。）
①婚姻意思*11を有すること ②同居により夫婦同様の共同生活を送っていること
*11 戸籍上の性別が同一の場合は夫婦同様の関係を将来にわたり継続する意思をいいます（婚姻とはこととなります。）
●上記「傷害」におけるケガには、有毒ガスまたは有害物質による急性中毒、細菌性食中毒およびウイルス性食中毒を含みます。なお、急性性、偶然性、外来性いずれかまたはすべてを欠くケースについては、保険金お支払いの対象とならなませのでご注意ください。（たとえば職業病、テニス肩等）
●「日本国内旅行中」とは日本国内において、旅行の目的をもって住居を出発してから住居に帰着するまでの「旅行行程中」をいいます。なお、住居とは一戸建住宅の場合はその敷地内、集合住宅の場合は保険の対象となる方が居住している戸室内をいいます。